

【緊急メッセージ】立命館大学体育会の皆さんへ

立命館大学学生部長 川方裕則

まず、今回お伝えしたいことは『新型コロナウイルス感染症の影響は衰えるどころか、再び大きくなってきており、近畿地方においても日々の感染者は増加の一途をたどっている』ということです。このことは、決して大げさではなく、『皆さんのすぐ足元にまでこのウイルスが迫っている』ことを意味しています。

実際に、ここ数日の間で、以下の事例が学内でも確認されています。

- | | |
|--------|--|
| ケース 1) | ある部員が、のちに感染が発覚する友人と居酒屋で飲食を共にした |
| ケース 2) | ある部員の家族が P C R 検査の対象者となった |
| ケース 3) | 立命館大学の学生の感染が明らかになった |
| ケース 4) | (活動再開前の部の) ある部員が発熱継続により P C R 検査の対象者となった |

体育会の活動は、競技による差異はありますが、通常の生活よりも感染のリスクが高いものです。

立命館大学の体育会の活動に参加することの重みを改めて考え、受け止めなおし、以下のことを各自が真剣に考えてみてください。皆さんの活動が、少しでも安全に、少しでも長く継続していけるように、部員全員が適切な行動を継続的にとることを、改めて強く要請します。

- ・たとえ何の症状がないとしても、『誰もが感染者である可能性を否定しない』ことが大切です。(逆に、発症した人と、発症 2 日前～発症 14 日後の間に接触していた場合、自分も発症する可能性があるとして理解してください)。どれだけの対策をおこなっても、自身が感染するリスクを 0 にはできないことを理解してください(「**感染者が不適切な行動をとった**」という短絡的な結びつけは絶対にしてはなりません)。しかし、当然ながら日常生活や部活動において、各部の対応方針にまとめられている『**感染防止のための対策を遵守する**』ことでリスクを下げることはできます。

特に、1)～3)について、改めて注意してください。これらは共通事項になります。

- | |
|---|
| 1) 外出時のマスク着用と日常的な手指等の手洗い、消毒を徹底する |
| 2) 不特定多数のものと密集したり、他人と密室に滞在したりする遊興施設へは行かない |
| 3) 家族や同じレベルの感染症対策が徹底されている人以外との会食はおこなわない
(必然的にマスクを外す環境で接することになるので、感染リスクは高くなります) |

- ・自分、周囲の人(部員など)、個人の所有物、共有物には目に見えないウイルスが付着していることを想定して対策を考える必要があります。一部、浮遊したり付着したりしているウイルスは目、鼻、口などの粘膜に入り込み、感染を引き起こします。手洗いや消毒をしていない手で触れることがないようにすること、マスク等でこれらの部位を守るようにしてください。【飛沫感染と接触感染を防がなければなりません】
- ・3密やソーシャルディスタンスという言葉に盲目的に従うのではなく、自身の行動の中で何がリスクとなるのか、シミュレーションしてみてください。自分がウイルスを保有していたらどうなるのか、周りの部員が保有していればどうなるのか、両面から具体的に考えると対策が見えてくるはずです。
- ・また、万一、部員の誰かが感染しても、それを早期に見つけ出し、クラブ指導者、スポーツ強化オフィスへ迅速に報告、相談を行うことが重要です。重症化のリスクをできるだけ下げるためには、これまで通り『**体調管理を徹底する**』とともに、部内での感染拡大を防ぐことを最重要課題として、定期的に意識の向上を促すなど、全員で感染予防に取り組むようにしてください。

以上